

京都小児外科セミナー2022 年春

— WEB セミナー —

開催日時・配信会場

- 令和4年4月10日(日) 10:30~13:00
- WEB 配信

参加方法

- <https://us02web.zoom.us/j/89862974915?pwd=VG1KZGtBcWlxaFAyaHVCTTBKN1FuQT09>
- ミーティング ID : 898 6297 4915
- パスコード : 553904



当日プログラム

開会の挨拶

10:30~12:00 症例検討会

~休憩~

12:05~12:55 特別講演

司会 : 京都大学小児外科 岡本 竜弥先生

第二の脳再生へのチャレンジ

-ヒルシュスプルング病に対する新規治療の開発-

Massachusetts General Hospital
Department of Pediatric Surgery
堀田 亮先生

閉会の挨拶

講演要旨 :

ヒルシュスプルング病(H病)は腸管神経系(第二の脳とも呼ばれる)の発生異常に伴う、消化管蠕動運動障害を主体とした先天性疾患で、新生児期に難治性便秘で発症する。病的無神経節腸管の外科的切除と周術期管理の進歩により、H病の生命予後は著しく改善されたものの、長期的な腸管機能予後は依然として満足のものではなく新規治療法の開発が望まれている。

我々は、H病に対する腸管神経幹細胞移植治療の可能性につき、H病モデルマウスを用いた基礎実験を行ってきた。本講演では腸管神経幹細胞の抽出と培養、およびマウス腸管への移植と術後の腸管機能評価についてお話し、将来的な臨床応用の可能性とそのため解決せねばならない課題について議論する。

堀田 亮先生 ご略歴:

1999年東京慈恵会医科大学医学部卒業、聖路加国際病院にて初期研修、一般外科研修の後、2005年慶應義塾大学小児外科入局。

2007年よりメルボルン大学医学部博士課程に進学。Heather Young博士に師事し、腸管神経再生に関する研究に従事する。2012年よりMGH小児外科Allan Goldstein教授の研究室に在籍。同テーマの継続、発展に努めている。

現職は Assistant Professor in Surgery, Harvard Medical School。

主催 : 京都大学小児外科

後援 : 京都大学外科交流センター

お問い合わせ先 : 一社) 京都大学外科交流センター ☎ 075-751-3131 kuhpgeka@kuhp.kyoto-u.ac.jp